

医療・福祉関連産業懇談会 第1回全体会（メモ）

- 1 日 時 令和4年10月13日（木）14：30～16：30
 2 場 所 ラ・ホール富士 7階 AV ルーム
 3 内 容

開会挨拶：医療・福祉関連産業懇談会運営員会委員長 金子佳久
 旧（富士医交会）（正式名称「富士山麓医療関連機器製造業者
 等交流会」）を引き継ぎ、医療・福祉関連産業懇談会（略称：医
 療・福祉懇談会）が発足し、本日、第1回全体会が開催されたこ
 とについて説明があった。



講演

- ◆「福祉用具・介護ロボットの施策の動向」（オンライン講演）
 講師：公益財団法人テクノエイド協会 企画部 部長
 五島 清国 様

要旨

- ・少子高齢化の現状と今後の動向について
 日本の人口は減少するが高齢者の割合は増加：
 2025年以降「現役世代の急減」となる。健康寿命の
 延伸と医療・介護サービスの確保が新たな課題。

- ・福祉用具・介護ロボットとは？

生活の継続、身体機能の維持・向上、尊厳の保持、
 自己決定などを考慮しながら開発と利用を推進す
 る。オーファンプロダクツとユニバーサルデザイン
 がある。

- ・利用シーンを想定した製品開発

現場は実践：実践的な研究計画を策定し以下に実装するか？想定する成果の共有。

- ・効果的な利用について

立場により異なる観点に注意し、効果的な開発、導入、利用を考える。

- ◆「ファルマバレープロジェクトと福祉機器開発」（リアル講演）

講師：ファルマバレーセンター センター長
 植田 勝智 様

要旨

ファルマバレー(PV)プロジェクト
 は、県別医薬品・医療機器生産第一位
 の静岡県で、事業所の半分以上集まる
 東部地域で、「世界の健康長寿県の
 形成」を目指し、「モノづくり」「ひ
 とづくり」「まちづくり」「国内・海
 外展開」の戦略で、医療健康産業クラ
 スター形成：『メディカルガーデンシ
 ティーの整備』をめざしている。PVセ
 ンタ（PVC）は中核支援機関で、10の主要事業：①創薬探索研究事業②治験ネットワ
 ーク運営事業③医療機器等開発支援事業④人材養成事業⑤共同研究コーディネータ支援⑥
 企業間マッチング支援⑦販路開拓・販売促進支援⑧静岡県医療健康産業研究開発センタ
 ーの運営⑨健康長寿・自立支援プロジェクト⑩医療健康産業分野における静岡県・山梨県
 連携（総合特区）を行っている。⑨では、平均寿命と健康寿命の差＝自立困難な約10年
 間をどのように過ごすかとの課題に対し、4つの戦略で活動。住宅整備については、PVC
 内にモデルルームを公開しており、再開したので見学に来てほしい。



◆「富士市の福祉施策と関連産業」（リアル講演）

講師： 富士市役所産業交流部 部長
米山 充 様

要旨

◆富士市の福祉施策等（保健、医療、福祉）

骨格は第六次富士市総合計画の「支え合い健やかに過ごせるまち」。保健分野では、「一人ひとりが健康づくりや疾病予防に取り組むまち」に基づき「健康ふじ21計画Ⅱ」を推進。医療分野では、「安定した医療提供体制のもと適切な医療が受けられるまち」に基づき、地域完結型医療の推進などを行う。包括的支援において「住み慣れた地域で一人ひとりの状態にあった支援を受けられるまち」を目指し、高齢者支援：「ばわふる85計画Ⅵ」の推進。地域福祉分野では、「地域で支え合い 助け合い 生きがいをもって暮らせるまち」を目指し、地域交流：「地域福祉計画」の推進を行う。



◆関連産業（富士市の産業政策）

キーワードは、PVC、富士工業技術支援センターを活用する事業社、大学などとの連携、紙製品。第2次工業振興ビジョンで5つの将来像を定めその実現に向けた施策を展開。R4年度は、CNF 実用化推進事業、中小企業振興：Be パレットふじ」+各種補助金、ものづくり交流都市：神奈川工科大学モノづくり体験事業+各種フェア。

事務局連絡 医療・福祉懇談会事務局 松坂孝

旧（富士医交会）の活動実績の説明と医療・福祉懇談会発足経緯について説明。参加企業から会費を徴収して運営にあてる。今後は、（福住研）の参画企業の運営委員とサポート会員からなる運営委員会で活動を決定していく。当面は参加企業の勧誘に尽力していただきたい。



事務局 奥宮（記）